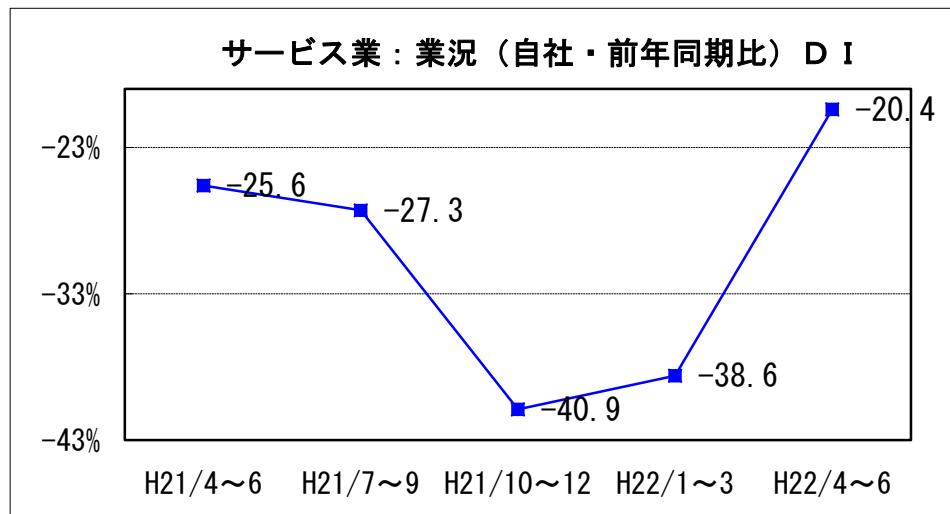


## 5. サービス業の動向

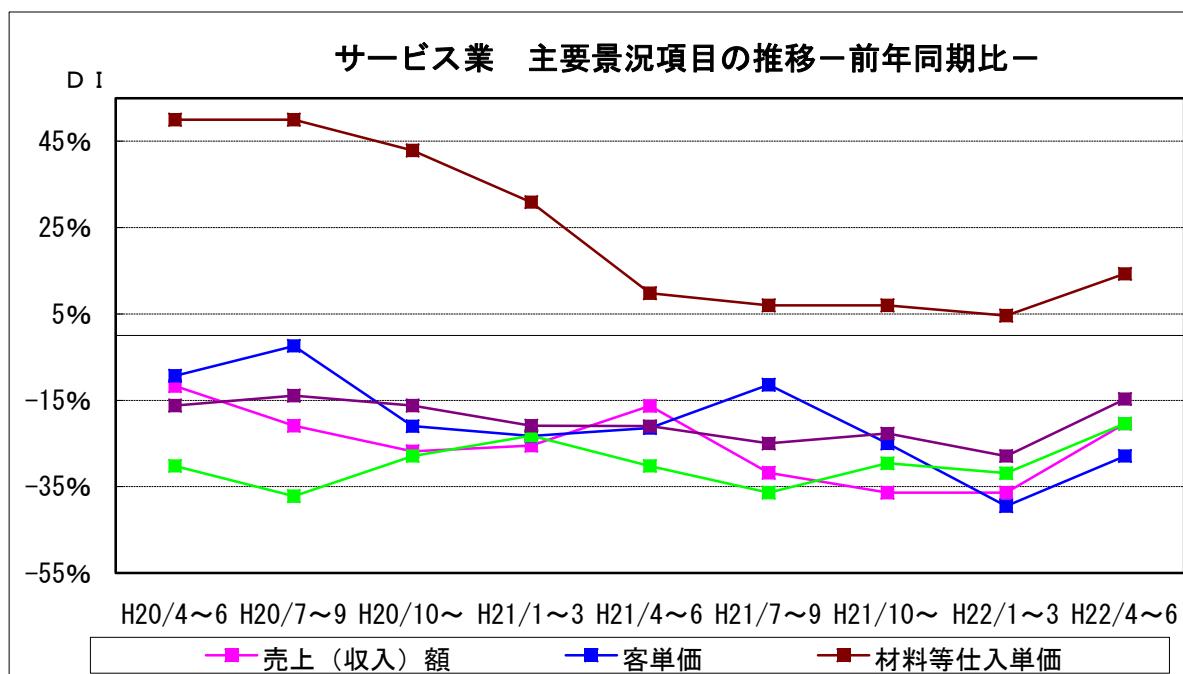
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス20.4。前期マイナス38.6から18.2ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しはマイナス32.5と大幅な悪化の見込み。



### サービス業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

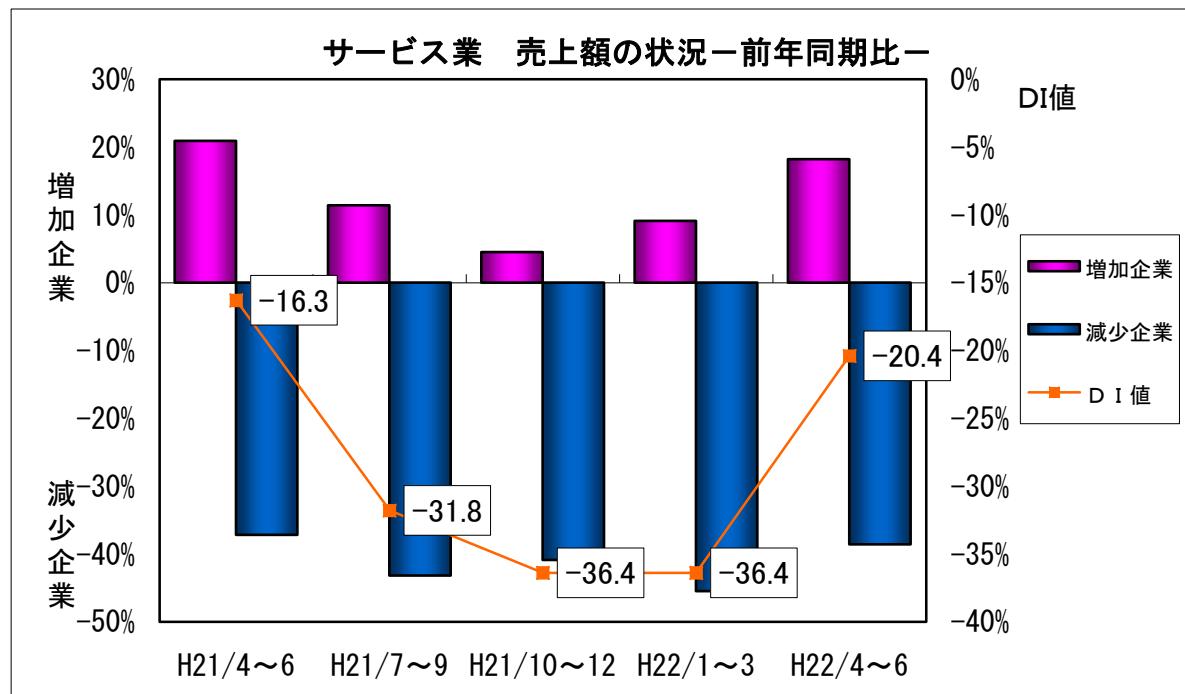
	前々期 (21年10月～12月)	前期(A) (22年1月～3月)	今期(B) (22年4月～6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上（収入）額	▲36.4	▲36.4	▲20.4	16.0	▲25.0
客単価	▲25.0	▲39.5	▲27.9	11.6	▲16.3
材料等仕入単価	7.0	4.6	14.3	9.7	0.0
採算（経常利益）	▲29.6	▲31.9	▲20.4	11.5	▲25.0
資金繰り	▲22.7	▲27.9	▲14.7	13.2	▲11.9



## (2) 主要項目の概況

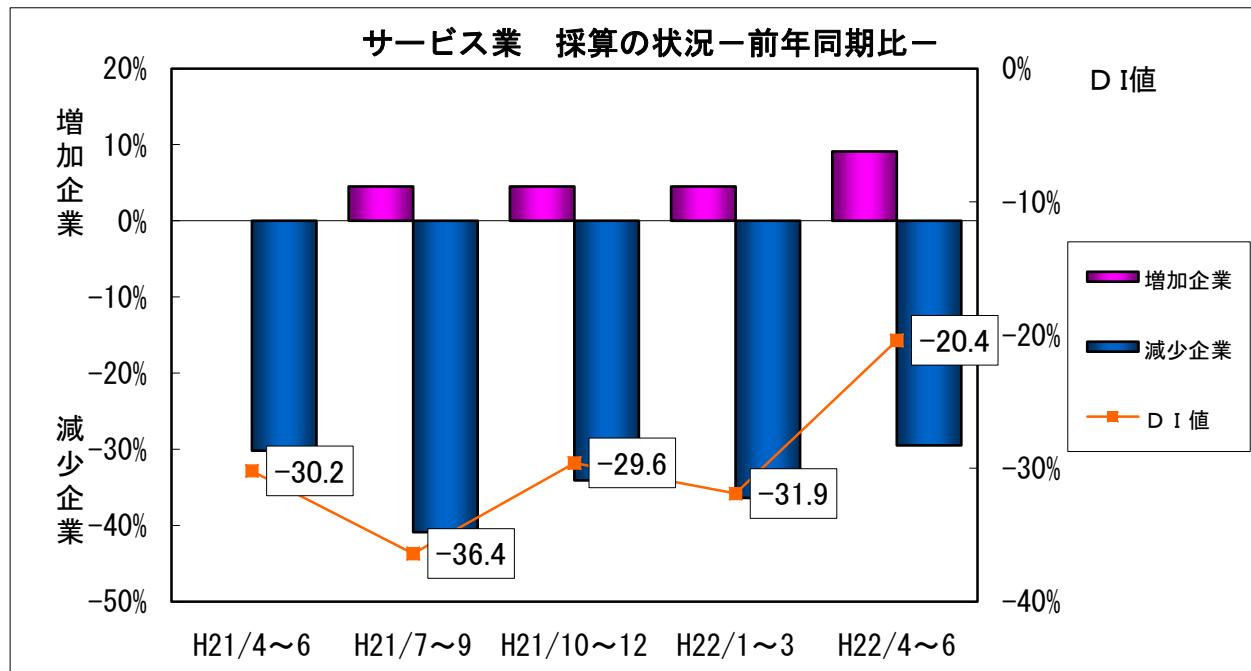
### ①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス20.4。前期のマイナス36.4から16.0ポイントの上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス25.0と小幅に悪化の見込み。



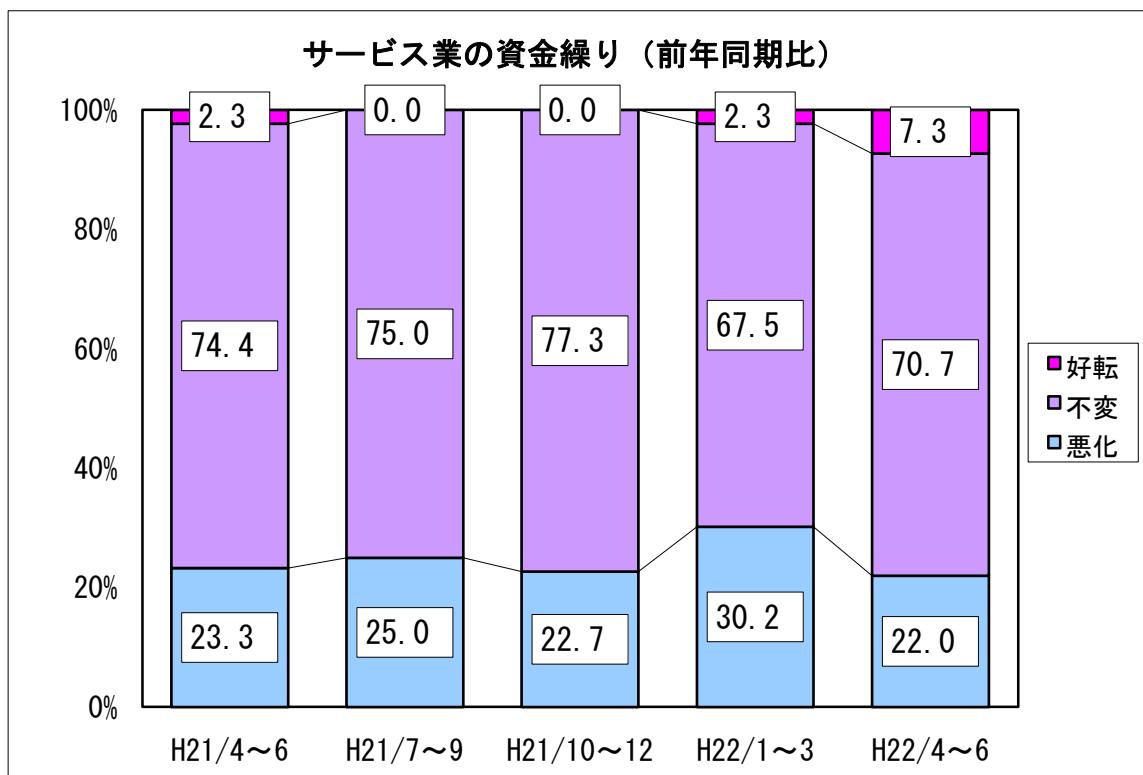
### ②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス20.4。前期のマイナス31.9から11.5ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス25.0と小幅な悪化の見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰り D I 値は、マイナス 14.7。前期のマイナス 27.9 から 13.2 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しはマイナス 11.9 とやや回復の見込み。

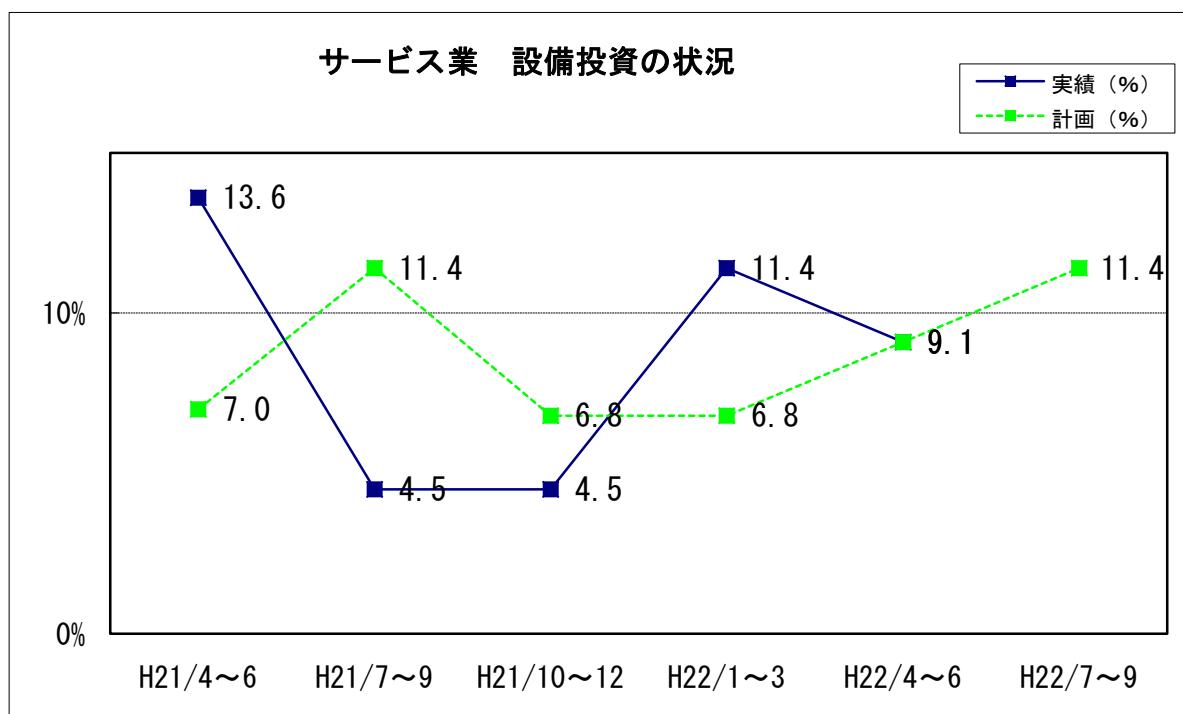


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

△	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数） (%)	5 11.4	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	39 88.6
今期実施（実数） (%)	4 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	40 90.9
来期計画（実数） (%)	5 11.4	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	39 88.6

今期設備投資を実施した企業は4社(9.1%)。前期(平成22年1~3月期)の実施企業5社(11.4%)より1社減少。来期は5社(11.4%)が、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、その他への投資を計画している。



## ⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 73.0%→今期 65.7%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 35.1%→今期 37.1%)
- ・ 「利用料金の低下・上昇難」 (前期 43.2%→今期 34.3%)
- ・ 「人件費以外の経費の増加」 (前期 29.7%→今期 22.9%)

となっている。

